

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 31 年 2 月 27 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3470103676		
法人名	有限会社 美泉		
事業所名	グループホームよってきんさい本浦		
所在地	広島県広島市南区本浦町27番18号 (電話)		
自己評価作成日	平成31年1月17日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3470103676-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成31年2月26日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>新築オープンし、4年目になりました。景色、空気も良く静かな団地の中で、地域の一員として、職員・利用者様と助け合い家庭的なホームで優しさを大切に生活しています。終末期に力を入れており、看護師を夜間も配置し可能な限りホームでの看取り、重度化に対応しています。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>黄金山の団地内にあり眺望に恵まれた開放的な佇まいの中、自然な形で地域に溶け込み利用者の穏やかな生活を育んでいる。四季を愛でる外出行事や地域活動に積極的に参加するなど、利用者の暮らしの活性化を図り個々のペースに合わせた温かみのある支援に努めている。栄養バランスを考慮しつつ昆布やいりこなどから出汁を取り、やさしい味わいの旨味を活かした手作りでの食事提供や、日々一緒に楽しめるアクティビティの工夫など、ケアサービスの質の向上に注力している。近隣の系列事業所と連携し、避難訓練や防災・減災活動に地域ぐるみで取り組み、地域と共にある良好な関係性を継続している事業所である。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	<p>○理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。</p>	<p>事業所独自の理念を作っている。毎朝、申し送り時に唱和し、仕事している。</p>	<p>利用者一人ひとりの能力や人生が尊重され、事業所が地域に根差した安心できる拠り所として在るよう、毎朝申し送り時に理念を唱和し意識統一を図っている。日々の流れの中で、理念が活かせるケアの実践に取り組んでいる。</p>	
2	2	<p>○事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。</p>	<p>町内会に加入している。町内行事、地域サロン等必ず参加し交流している。散歩も毎日出かけている。</p>	<p>日頃の散歩での挨拶や会話はもとより、町内会に加入し、夏祭りや敬老会などの地域の季節行事に参加するなど交流を深めている。「いきいきサロン」で体操や食事を共に楽しむ利用者もいて地域交流の輪をひろげている。</p>	
3		<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。</p>	<p>運営推進会議を利用しお話をしている。地域の方は協力的で、一人外出時に声をかけて下さったり、連絡を下さる。</p>	/	/
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>	<p>2カ月に1回活動内容等を報告している。地域の方の意見を聞きサービス向上に活かしている。</p>	<p>地域代表者・行政関係者などの参加を得て隔月開催され、現状報告や質疑応答がなされ改善に向けた意見交換をしている。防災対策など地域をあげての取り組みや、地域交流の活性化について話し合いを重ねている。今後は家族や多方面からの参加を更に促し、より良い運営に反映させていく姿勢がある。</p>	
5	4	<p>○市町との連携</p> <p>市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>市主催の研修会や説明会に出席している。運営推進会議で包括支援センターの方に、出席頂き事業所での活動を報告している。</p>	<p>運営推進会議への地域包括支援センター職員の参加をはじめ、普段から相談・手続き・報告など密に連携し、地域包括支援センター主催の研修会などに職員が参加協力している。地域共催の「いきいきサロン」参加や地域に根差した取り組みを継続している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>全職員、身体拘束の研修を受けている。日中は玄関は施錠せず開放している。</p>	<p>法人内外の研修はもとより身体拘束ゼロ運動の実施や適正化に向けた取り組みを行ない、職員会議などで周知徹底を図っている。センサーマットを活用し、ケアカンファレンスで個々のケースについての検討や言葉の抑制をしない支援に努めている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>研修で学び、職員同士お互い注意し合い、取り組んでいる。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>社内外研修で学んでいる。必要と思われる場合は、上司に報告相談し、制度の活用につなげている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時には、重要事項説明書を元に納得して頂けるまで、十分な説明を行っている。いつでも質問を受ける事を話している。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>窓口は明確にし、玄関に苦情箱を設置している。苦情時にはミーティングをし、改善しサービス向上につなげている。</p>	<p>主に面会やイベント時で家族他と話し合い、頂いた意見には職員間で速やかに改善策を講じている。理解の得られるサービス提供や個別支援など、それぞれの意向に沿えるようケアプランや運営に反映させクオリティアップを図っている。職員手書きによる毎月の様子を伝える手紙は家族にも好評である。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	代表者とは、年2回面接を行い、意見を聞く様にしている。	普段から職員同士で話し合う機会を多く持ち、お互いに気付き合える関係性の構築に努めている。職員会議で職場環境整備などについて話し合い、人材育成も含めた前向きなケアの方向性を紡ぎサービスの向上に活かせるよう努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	申し送り時や面接により把握に努めている。研修の案内や、研修に合わせて勤務の変更等を行い配慮している。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	社内外の研修に参加を呼びかけ、申し送り時や事業所訪問時の気づきに対し、各職員に注意や指導を行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	同業者との職員研修や、勉強会などに参加し交流を図っている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居前に面接に伺い、話を聞き何を必要としているかなど判断に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>家族の意見等をしっかり聞き、サービスに取り組んでいる。面会時には様子をお伝えし、要望を聞き信頼関係を築いている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>本人、家族よりお話を聞き、必要なサービスを検討している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>共に生活するという思いを持ち、一緒に食事をしたり、おしゃべりをしたり関係を築いている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>毎月1カ月の様子を手紙に書き郵送している。面会もなるべく来て頂くようお願いしている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>本人の希望にそって、馴染みの場所、自宅等可能な限り支援している。</p>	<p>メモリアルストーリーや生活スタイルに沿った懐かしい関係性や旧知の間柄を大切にしたい支援に努めている。法人の専用ドライバー協力のもと馴染みの美容院に出かけたり墓参りなど個々の思いに沿った個別外出にも対応している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	職員が間に入り、利用者様同士仲よく生活できるようにしている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	サービス終了後も必要に応じて可能な限り支援している。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いやりや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の生活の中で希望等聞く様になっている。困難な場合は家族に相談し本人がどのように思っているかを話し合い検討している。	生活サイクルの中で、さりげない会話やふれあいを通じそれぞれの思いや意向を汲み取り、個別記録に記し職員間で共有化に努めている。利用者の心の声を受け止め、個々の表情が明るくなるような対応を意識し日々のケアの充実を図っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前に細かく聞く様になっている。入居後も情報があつた場合は細かく記入している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	ホーム内の日課はあるが、個々のペースに合わせ無理せず個別に対応する事もある。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>アセスメントは細かく記入し、課題を明確にし、話し合いを行い、介護計画を作成している。</p>	<p>担当職員が知り得た情報を基に、家族・医療関係者ほかの意見を取り入れ、個々のニーズに沿った介護計画を作成している。状態変化や状況に合わせた細やかな観察により生き生きと過ごす要素を増やし、その人らしく暮らせるよう定期的なモニタリングで見直している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>利用者様の発言等、細かく記入している。特変、発熱等は赤字で記入するようにしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>状況に応じ話し合いを行い、サービス検討している。家族の状況変化の為、同法人の他ホームへ転居した事例あり。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>月1回の町内サロンや、行事に可能な限り参加している。ホーム内に閉じこもらず、積極的に地域に出ようとしている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>週1回協力医の往診あり。診察を受けている、他医療機関に定期受診の為通院されている方もいる。</p>	<p>毎週主治医の訪問診療があり、24時間体制で看護師を配置し利用者の健康管理に努めている。緊急時にも迅速な対応や適切な処置に取り組み、入退院時の支援・必要に応じた通院同行支援も職員が行なっている。服薬管理・感染症予防対策に心がけ体調コントロールに留意している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>日中・夜間、看護師を配置している。気付いた事は報告し、連携を取っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時には交代で様子を見に行き、看護師さんに様子を聞いている。必要時には食事介助をしている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>入居時に意見を聞いている。状態変化時には、家族・医師等と話し合い、意見の確認をし取り組んでいる。</p>	<p>終末期に向けた指針があり入居時に説明し、重度化した場合その都度家族他とよく話し合い、各々の意向に沿った支援を行なっている。看取り希望には十分な説明に加え家族ほかと合意の上、計画書を作成し最期までその人らしく過ごせるよう医療関係者の協力のもとチームケアで臨んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>研修を実施している。マニュアルがあり、いつでも見れるようにしている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>年2回訓練をしている。地域には協力体制はお願いしている。非常食・水等確保している。</p>	<p>年2回の防災避難訓練を実施し、避難ルートの確認や防災備品の点検を行ない、様々なシチュエーションでの迅速な対応や安全確保について職員間で意識向上に努めている。施設を避難場所として提供し水・簡易食・救援グッズなどのストックや地域ぐるみでの減災活動を強化している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	声かけは、笑顔で優しい態度で接するようにしている。	日常生活において利用者の人格を尊重し、ライフスタイルや趣味趣向を大切にケアに努めている。礼節をわきまえつつその人に合った接遇や言葉掛けなどに留意し、利用者にとって居心地良く自由に暮らせる関係作りに配慮している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	洋服や、飲み物等自己決定出来るように声かけをしている。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	業務にとらわれず、利用者様のペースに合わせて、話をしながら支援している。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	誕生日会、お正月等、一緒に選びおしゃれをしている。外出等には化粧をしている。			
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食べたいものを、お聞きしメニューに取り入れている。盛り付け、下膳等可能な限り一緒に行っている。	三食共職員手作りでの食事提供で、食材本来の味わいを活かしたメニュー作りや旬の彩りを利用者と共に楽しむ工夫を重ねている。誕生日にはリクエストに応じた焼肉やちらし寿司などのお祝い会食・春には花見弁当など、皆で味わい楽しむ機会を設けている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>体型等に合わせ、茶碗は決めている。捕食にエンシュアやバナナを摂取する方もいる。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後、歯磨きをしている。スポンジ等、個々に合わせ使用している。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄パターンを把握し、トイレ誘導を行っている。夜間可能な限りトイレ誘導を行っている。</p>	<p>個々の排泄パターンやタイミングを見計らい、トイレ誘導している。こまめな水分補給や日中の活動量を増やす取り組みにより、夜間も併せスムーズな排泄の促しに努めている。適切なパッド対応や清潔を保ち、気持ちよく過ごせるよう支援している。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>水分は多めに摂取する様にしている。毎朝牛乳を飲用して頂く方もいる。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めず，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>日曜日以外はお風呂を沸かしている。週3回は入浴して頂くようにしている。入浴剤や柚子湯等を使用し楽しむようにしている。</p>	<p>その日の心身状態に合わせなるべく意向に沿った入浴を週3回の目安で行なっている。折りにふれ季節の香りや湯船に浮かべ、職員との会話やコミュニケーションを楽しみ、リラックスできる時間となるよう努めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>昼食後居室にて、休息される方 もいる。見守りの中、ソファー で休息して頂く事もある。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p>	<p>日付、名前、食後を必ず確認し 内服している。医療欄を作成し 全員把握できるようにしている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。</p>	<p>保育士をされていた方には、 オルガン弾いて頂いたり、個々 の得意な事をしている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出か けられるように支援している。</p>	<p>ドライブに出かけたり、買い物 に出かけている。</p>	<p>日常的な散歩に加え、四季折々 の風情を味わう年間行事とし て地域の由緒ある神社への初詣 ・手作り弁当持参で利用者ほぼ 全員参加の花見など、外気に 触れ楽しむ催しを行なってい る。ドライブやショッピングな どの個別外出や家族との外出ほ か、思い出のひとつづくり に取り組んでいる。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。</p>	<p>家族より、お金を預かっている かたもいる。外出時には自ら支 払いをして頂き、収支金銭ノ ートへ記入している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>電話がしたい時には、ダイヤルを押しかけて差し上げている。携帯を持って自由に電話される方もいる。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>季節の花や作品等を飾っている。温度は気を付けて調整している。</p>	<p>各階とも日当たりが良く、一階のリビングにはバルコニーが設けられ、辺りを一望できる開放的なスペースで、洗濯物を干せる場所でもある。大きいソファを設置して各々が自由に寛げるよう工夫し、アットホームな空気感あふれる共有空間となっている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>テーブル席は相性で決めている。1階、2階自由に行きき出来るようにしている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>タンス等は使い慣れた家具を持参して頂き、本人、家族と相談し居室作りをしている。</p>	<p>馴染みの品々や調度品に囲まれ個性のあるその人らしさを活かした居室づくりに心がけている。換気や掃除をこまめに行ない、それぞれのおしゃれや身だしなみを整える支援にも配慮している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>各ドアの前には、「トイレ」等分かりやすく表している。居室には手作りのネームプレートをかけている。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームよってきんさい本浦

作成日 令和元年5月10日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	火災以外の災害に対する、消防や地域との更なる協力体制の検討。	消防署や地域と、協力体制について話し合い、災害対策の強化を図る。	<ul style="list-style-type: none">・消防署立ち合いにて避難訓練をする。・災害対策についての研修。・運営推進会議にて災害時の対応や、お互いの協力体制について話し合いをする。	1年
2	4	運営推進会議への出席者が限られている。	運営推進会議への家族の参加。	<ul style="list-style-type: none">・運営推進会議の日程のお知らせとお誘いをする。	1年
			会議録の記載をわかりやすくする。	<ul style="list-style-type: none">・会議録の書式変更。・内容を詳しく記録する。	1年
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。